

は熟っぽく語る。ワインの仕上がりは9割がブドウの品質で決まる。技術と経験を高めるとともに、より良質なブドウの栽培が欠かせない。栽培するのは赤、白ワイン用の計13種類。2020年までに12畝に2万7千本が植えられたブドウ畑は、22年には18畝約4万本まで増やす予定だ。

ワイナリーはIoT(モノのインターネット)やローカル5G、AIを活用する。広大な畑を管理する上で、先端技術を用いて質の高いブドウを生産すると同時に作業の省力化を図るのが狙いだ。気象や生育データを観測し、栽培に適した環境を逐一分析する。ドローンや無人ローバーの活用も進



めていく。

さらに中山さんはワイナリーを核とした壮大なスケールの青写真を描いている。実りの秋には稲穂や柿の葉が黄金に色づき、ブドウの葉も金に輝く。フランスワインの銘産地「ブルゴーニュ」を思わせる立野原の情景に着想を得て、約500畝の土地をブランド化する。24年をめどに、果樹栽培やカフェ・レストランの開設、観光拠点の造成など九つの取り組みを実現させたいという。「トレポー」は「大変美しい」という意味のフランス語だ。ワイン造りの先に、美しい地域の未来が広がっている。

- 1_四季折々に美しい情景が広がる
- 2,3_本社兼醸造所。ワインも販売している



北日本新聞社発行 まんまる 掲載広告↓

〒富山市立野原西コート・ドール1197
TEL:0763-77-4639 営=10:00~16:00
休=火曜 P=30台

富山大学附属病院 総合がんセンター

市民公開講座

入場
無料

～次の世代のがん医療～

日時 2021年(令和3年)
9月12日(日) 12:15開場・受付
13:00▶15:00

会場 富山国際会議場大手町フォーラム
3Fメインホール

〒930-0084 富山市大手町1番2号

【お問い合わせ】 ☎076-444-0035 ✉center@jeckc.com



詳細と申込フォームはこちらから▶



新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、本市民公開講座を延期又は中止する場合があります。最新情報は、富山大学附属病院HPの最新情報に掲載いたしますのでご確認ください。

<http://www.hosp.u-loyama.ac.jp/guide/index.html>

YouTube 生配信・オンライン配信をお申込みの方には、配信用 URL をお送りいたします。

- 主催/富山大学附属病院
- お問い合わせ/ 総合がんセンター市民公開講座事務局 株式会社ジェック経営コンサルタント
- 共催/北信かんプロ 文部科学省「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(かんプロフェッショナル)」養成プラン」
- 後援/富山県・富山市・富山県医師会・富山市医師会・富山県薬剤師会・富山市薬剤師会・富山県看護協会・富山県がん診療連携協議会

